



～夏休みおもしろエピソード受賞作品 10 作品～

私がまだ小学生の頃、夏休みに家族で海に行きました。その当時ピザを頼むと景品で海老の浮き輪が貰えたのですが、それを持って海で遊んでいました。母と一緒に浮き輪でプカプカ浮かんで周りを見渡すと小さいサーフボードのようなものを持って遊んでいる人が沢山いました。「あれ楽しそうだね!」「次海に行くときはあれ買って持ってこようね!」そんな会話を母としていました。

それから1時間くらいした頃、20代くらいのお兄さん達が近づいてきました。「すみません!よかったらその浮き輪ちよつと貸してもらえませんか!?その間これ使ってもらっていいので!」そう言って渡してきたものはさっき話していたサーフボードでした。「え?いいんですか!」そう言って交換して念願のサーフボードで波に乗りながら(ほとんど波にのまれてました)楽しく遊んでいました。

しばらくして、ふとお兄さん達に目をやるとそこには小学生の私よりはしゃぐお兄さん達がいました。CMでも宣伝していた海老の浮き輪で遊ぶのが余程嬉しかったんだなと思いました。「私たちより楽しそうだね!」そう言って母と大笑いました。今でも忘れられない楽しい思い出です。

あれは小学校の夏休み最初の一週間でした。両親は共働きのため私たち3人兄妹のご飯は一緒に暮らしていた母方のおばあちゃんが作ってくれました。ただ、まあそのおばあちゃんがあまり料理が得意ではない人で、孫が美味しいと言った料理をずっと作り続ける人でした。

そして事件は起こったのです。一週間朝昼晩冷やし中華事件が。まさか冷やし中華が1日3食も出るなんて思ってもなかった私たちは作ってもらってる気持ちと、いやいやでも3食はないだろうという気持ちで3日間冷やし中華を食べ続け、さすがのおばあちゃんも作りすぎたかも?と顔に出し始めた4日目の昼!久しぶりに休みだった母親が「やっぱり夏は冷やし中華ね♪」の一言でまたおばあちゃんの冷やし中華熱が再熱! いやいやいやいや!お母さんは1食目の冷やし中華だけど私たちは連続10回食べてるから!

私たちの訴えもむなしく、そこからまた冷やし中華は続き、一週間朝昼晩冷やし中華事件となったのです。そのせいか私はずっと冷やし中華が食べられませんでした。今年20年ぶりに冷やし中華を食べることができました。冷やし中華のトラウマ、世の親御様方どうかお気をつけください。この後別件で今度は一週間焼きそば事件もありましたがそちらも食べられるようになるまでに20年かかりました。

子どもの頃、夏休みは母方のおばあちゃんの家で過ごすことが多くありました。

ある日、おばあちゃんが慌てた様子で何かを探しているので尋ねてみると、お煎餅を食べようと思ったら入れ歯が入っていないことに気が付いたとのこと。わたしも一緒に探しましたが、見つかりません。

朝ご飯の時は入っていたとのことなので、その後に出かけた所がないか尋ねると、近所のスーパーへ行ったと。ダメ元で電話をしてみると、なんとソーセージの試食コーナーに落ちており、預かってくれていました。まさかのことに吹き出して笑ってしまいました。おばあちゃんは恥ずかしそうに受け取りに行っていました。

最近あまり見られなくなりましたが、今でも試食コーナーがあると、あの頃のおばあちゃんとの出来事を思い出して一人にやけてしまいます。

3歳の娘を連れて、初めて海へ！

喜ぶだろうなあ、楽しいだろうなあ、と期待に胸を膨らませ、ビーチボールや浮き輪やいろんな準備をしました。

海なし県に住む私たちは、海までも遠く、およそ2時間。当日、天気は晴れ。ワクワクしながら出発し、到着までの2時間もあっという間でした。到着し水着に着替え、いざ海へ！

打ち寄せる波、私のテンションもMAX、、、と娘を見ると愕然とした表情。

『こわい、かえる』

ええええー！？とりあえず、砂で遊ばせてみようかと山を作っても

『やだ、かえる！』

カニを取ったら更に

『こわい！かえりたい！』

しまいには泣き出してしまい、、

海まで片道2時間、海にいた時間30分、残念な初海になってしまいました（笑）

そんな娘も今や6歳。

毎年海に連れて行ったせいか、海が大好きになりました！

10年前の話です。小学4年生の夏休み、子供会でお泊まりイベントがあり初めて親元を離れ、お泊まりをするのでワクワクしながらお泊まりの準備に追われていました。

持ち物欄に、洗面用具と書いてあり、親に『洗面用具ってなにかな〜？』と聞いてみました。親がそれ準備しといてあげるからと言ってくれ、当日『洗面用具』を旅行カバンに詰めて出発しました。宿泊先でお風呂の時間になり、みんなでお風呂の準備をし、いざお風呂へ向かおうとすると、私だけ大きな荷物、みんなはタオルに着替え、私は、大きな洗面器、そうです！私のお母さん、洗面用具 = 洗面器を持たせてくれたのです！！みんなに爆笑されて恥ずかしい思いをしました。なんとも思い出に残る楽しい夏のイベントでした！

私の夏休みの思い出、それは2年前のこと。

そのころ小学3年の3女の夏休み最終日、何があってもいいように会社を休んでいた私が3女と一緒に明日の学校の持ち物点検をしていた時のこと。なんと、宿題の問題集がほとんどやってなーい！！(@_@;)！！

娘は終わったとかなり前に言っていたので信じていたのに。確かに姉たちと一緒に勉強する姿も見ていたのに…(。°Д°。)

それから、慌てて宿題をさせたのですが、夜になっても終わらず、眠そうな娘を起こしては宿題を進め、結局、登校日の朝を迎えてしまい、9歳にして徹夜を経験した3女。結局やり終えることが出来なかった。(。・´Д`。・)なのに何故かやりとげた感半端ない顔をした娘っ子。対照的に徹夜したうえに終らなかったことへの罪悪感と、徹夜明けに仕事に行かなきゃいけない辛さ。娘と対照的にやつれ感半端ない私。我が家ではいまだに伝説の夏休み。今だから笑える夏休みです。

ちなみに、今年も3女はまだ、宿題に取りかかっていない様子。こまったものです。

夏休みと言えば…毎朝のラジオ体操。私も子供の時に通っていましたが…

親になり、子ども会の役員という立場で、子供たちの夏休み中、ラジオ体操を近くの広場で行うことになった時のことです。

毎朝、沢山の子供たちがラジオ体操のスタンプカードを持ち、眠たい目をこすりながら広場へやって来ます。

スタンプカードは押しもらった数で最終日のプレゼントが変わるので、子供たちはとても大切にしてくれていて…首から下げている子やケースにしまっている子もいます。

スタンプはその日の体操が終わりになると役員数名がスタンプを押すことになっていました。

体操が終わりに近づいてきた、その時です。何故かラジオ体操をしている子供達が…

「ジワリ、ジワリ…」と私達、役員に向かって近寄ってくるのです。それも、ちゃんと体操はしながら…（笑）

その姿が可愛くもあり、少し怖くもあり…（笑）小さなハンターに狙われているような～

早くスタンプを押してもらいたい気持ちからなのか…終わった瞬間、一斉に役員を目がけて走り寄る姿は今でも思い出すと笑ってしまいます。

かわいい子供達との面白い夏休みの思い出になりました。

小学生の頃、夏休みの思い出といえば、親戚の葉タバコ作業の手伝いです。

この手伝いにはもう一つの目的があり、夏休みの宿題を従兄弟に手伝ってもらおう事でした。こちらがメインと言っても良いかもしれません。この時も2歳年上の従兄弟に宿題を手伝ってもらい（ほとんど従兄弟がやっていましたが）無事に終了し提出することができました。

数日が経ち、夏休みの宿題が返される日、先生からお呼びがかかりました。そんなに出来が良かったのかと意気揚々と先生のもとに行くと、先生から見せられたのは、従兄弟の名前が書かれていた宿題でした。

なんと従兄弟はご丁寧に自分の名前を書いていたのでした。宿題提出時に確認したつもりでしたが、漏れていたようです。その後正直に話すと先生は笑いながら宿題を返してくれました。40年以上前の話ですが、今もその時の光景を思い出すと1人ほくそ笑んでしまいます。

虫が大好きな息子。夏休みにたくさん虫を採りに行こう！と新しい虫取り網を購入しました。

早起きしていざカブトムシ狩りに出発しましたが木に居たのはカナブンや蜂だけ…。でも、木の根元を探したらカブトムシのメスが一匹いて大喜びで帰りました。

その日の夕方、窓を閉める時に勢いよく大きな蛾が飛び込んできました。何と蛾は昼寝中の娘の腕に！

『大変だ！』と、すかさず息子が玄関に走り『**これの出番だ！**』と先日買った虫取り網を持ってきました。娘ごと網に入れそうな勢いだったので急いで腕から蛾を払い、虫採り大会の始まりです！

2～3分後、無事にゲット！

…新品の虫採り網の記念すべき一匹目は『蛾』という悲しい結果に終わりましたが、捕まえたときの息子の満足そうな顔が今でも思い出すと笑ってしまいます。

その日の夜は七夕でした。（うちの地域は8月7日が七夕です）そんな息子にプレゼントするかのよう夜、息子が寝た後、部屋の窓にゴツッと何かが突撃！見ると**カブトムシの雄**が！

そして1時間後、またゴツッと。覗いてみると今度はカブトムシの雌が！

…翌朝、虫かごを覗いた息子は鼻の穴を大きくして興奮していました。嘘のような本当の話です♪

4歳の娘と近くの山道をお散歩していたら、首輪のついた迷いヤギがずっと後ろからついてきていました。娘は初めは怖がっていましたが、人懐っこいヤギで途中からついてくることを楽しんでいました。

少しすると後ろから飼い主のご近所さんというおばあちゃんが走って追いかけてきて、そのヤギを捕まえてください！と慌てた様子でした。

私と娘でヤギを捕まえようとしたのですが、何かを察したようで走って逃げていきました。

娘、おばあちゃん、私、ヤギで山の中を全力で追いかけてこしていました。

しばらく追いかけて娘と私で捕獲♡(°▽°)♡おばあちゃんや飼い主さんから、とても感謝されてお家の畑で採れたお野菜を沢山いただいて、ヤギの名前も教えてもらって。。とても刺激的で心のあたたまる一日でした(ㄣㄣ)

娘もなかなかできない経験にずっと興奮気味でした(ㄣㄣ)